

【別紙3】

2018年度 室蘭工業大学国際交流センター

国際共同研修プログラム研修参加報告書（学生）

プログラム参加者 所属・学年・氏名	情報電子工学系専攻 博士前期課程 2年 齋藤 光		
引率教員氏名	須藤先生 佐藤先生	訪問国・協定校名	マレーシア UTAR

・ 1週間の研修期間のうち2日間ワークショップに参加

異なるOSでも動くモバイルアプリを作成する1つの手段として紹介されたCordovaを用いた実習を行った。時間の制約上、Android 端末上でのみサンプルの実行を行った。環境さえ整えられれば思っていたよりも手軽にアプリを作成できることが認識できた。大学自体の雰囲気もしっかりと努力する空気感が漂っていた。勉強熱心という印象を受けた。少し日本と異なっていたのは、授業合間に床に座ってまでも勉強していたことである。無駄な時間を省くということ徹底しているという印象を受けた。

・ 観光ツアーに参加

企業の製品展示会を見学。カルチャーショーなどにも参加。様々な人々の伝統文化を見ることが出来、興味深い経験となった。気さくで温かい人が多いという印象だった。マレーシア国内のインフラ整備の差が激しいという印象も受けた。道路の立体利用などの工事が途中だったり、インフラを整えている現在の様子を見ることが出来た。高層ビルなどの建設なども進んでおり、近代化を大規模に進めている様子を実際に見ることが出来た。通信インフラは都市部では繋がりやすい上に、回線速度も速いと感じた。

・ 英語のみの生活

ワークショップなどの伝達手段はもちろん英語のみであった。まだまだ理解できていないと感じた。正直、自分の語学力をもっと向上させたいと思った。随所随所で、その場で英語の意味をわからないと楽しい選択ができなく、非常にもったいないと思った。TOEICの勉強だけにとられずに、実際に話してみるという実践を多く取り入れたいと思う。今後は国際交流クラブなどの活動を通して留学生の友人との仲を深めて会話する機会を増やしていきたいと思う。また同時に英語でのチャットや映画などの教材で「聞くこと」から始めていきたい。そしてイベントなどにも積極的に参加して語学力はもちろん、人としての幅も広げていきたいと感じた。

- ・ 研究会等でご自身が発表した梗概・要旨・予稿原稿（英語）があれば添付してください。